

令和8年度安代小学校の森林学習が終了しました。

9月30日（水）八幡平市安比高原にて八幡平市立安代小学校5学年16名へ森林学習を行いました。

今回のテーマは、「林業を体験する」として、丸太切りとドローン操作の体験をしてもらいました。

丸太切りでは、初めて丸太を鋸で切る子が多く、鋸を丸太に水平にいれることに大苦戦をしたため、「鋸を押すときは力を抜いて、鋸を引くときに力をいれる」「鋸をはじからはじまで大きく動かしてきる」ことを伝えたところ、上手に切ることができました。また、普段から家で鋸を使用している子もいて、とても上手に切っていました。

また、丸太の伐採の位置を変えて、柂目と板目の違いを説明して、野球をしている子に、木製バットの時は、強度の強い柂目面でボールを打つことを教えたところ、初めて知ったとの感想がでました。

ドローン操作では、ドローンは知っているけど、実際に見たことがない児童が多く、操縦体験で、「ドローンで空中からの風景が見れて綺麗だった。」「林業の場でドローンが活用されているのが良く分かった。」操作は、難しいけど楽しかったと感想がでました。

その後、安比高原ふるさと倶楽部の方と、天然野柴の保全活動のために、木の伐倒や枝打ち作業を行い整備してもらいました。立っている木の伐倒や枝打ちを行うことは、丸太切りと違い難しいため、児童には大変貴重な体験となりました。

最後に、今までの森林学習でのふりかえりで、疑問や分からなかったことについて、児童に回答をしながら、森林・林業についての理解を深めてもらいました。

令和8年度の当署の森林学習等の予定は、最後になりましたが、今後も、視覚や直接触れてみる体験を重視し、岩手北部森林管理署管内の自然を直に感じてもらい、みんなが関心を持って学習できる森林学習を続けていきます。



丸太切り体験



コースタ作り



ドローン体験



草地の整備